

2022年2月19日  
渋谷敬三と宮本常一

旅で見つける地域の  
魅力と底力

安溪遊地・安溪貴子

(あんけいゆうじ・あんけいたかこ  
生物文化多様性研究所)

1975年伊藤幸司氏撮影





# 今日の問いかけ

- やまぐちの足もとにある**魅力**の発見と発信ができていますか？

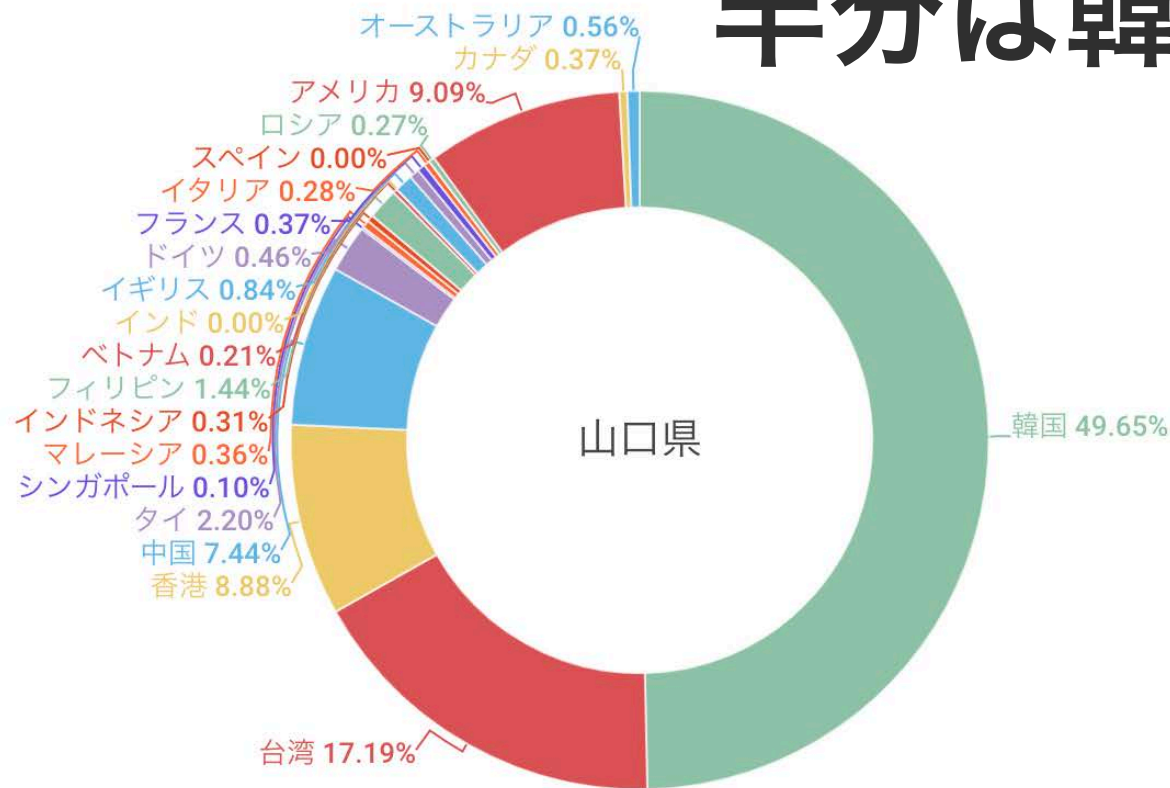
来てみりゃわかる？ **そもそも来ない？**

- コロナで観光客がこなくなった中で、地域が生き残れる**底力**はみつかりましたか？

農業収入つねに**最下位死守**の山口県

# 山口県に来ている訪日外国人の割合

## 半分は韓国から



調査方法：「訪日外国人消費動向調査（2019年）国籍・地域別 都道府県別訪問率」および「訪日外客数統計（2019年）」より訪日ラボ推計

# 山口県立大ドリームアドベンチャー

## 「釜山からもおいでませ山口へ」

関釜フェリーを降りた韓国からの観光客にアンケート  
ハンゲルで892通回収

結果	目的地	九州各県	50%
		山口県	24%

山口県の目的地の76%が下関市、他は5%未満  
2008年県立大学生しらべ



いま、DEEP!なLOCALが熱い!!長州タイムズは山口の旨いオモシロイ!をご紹介するDEEPな情報発信フリーペーパー。

## ふく便

伊藤博文



中世から300年にも及んだふぐの禁食令を解禁。！  
明治維新、そして新政府にて大いに発揮された開明的  
つ柔軟な思考は、後に山口県が誇る名物となる「ふく  
をも世の中に解き放った。


### 【特集】

- ・長州の動き
- ・山口県知事と伊藤博文のバーチャル対談
- ・「店ふく」ふく料理自慢の名店は全域に指折り存在！
- ・「宿ふく」プレミアムなお宿はふく料理も自慢！

vol.9

詳しくはこちら





ゆうじさん、ソウル大の  
教授たちを案内する  
山口県ツアーをやりたい。  
全京秀先生



一家  
天地  
自在  
風

為榮蓮亭  
主人房  
法住閣主人  
書

「一家天地自春風」  
法住閣主人  
伊藤博文  
（初代總理大臣）



## 第一部 紹介

## 第二部 継承

安溪遊地60分

安溪貴子30分

残された膨大な著作と写真だけでなく、地域研究のモラルに直面しつつ、生活者であり、研究者であり、しかも社会的な課題にボランティアとして挑戦し続けた宮本常一。そして、彼を育てた渋沢敬三。現在も光を失わない、やまぐちへの、世界への熱い問いかけ。それをいかに受け止め継承するのかをともに考えたい。



# 宮本先生との初めての出会い

1974年、大山移動大学。舌状台地 田代安定





# 日本列島を教科書とする移動大学運動に（大学3～4年）

1973年新潟県巻町で  
第11回移動大学開催





# 「地域がよくなるには地域の中からアイデアが出る必要がある」

◎佐渡島南部・おけさ柿 513戸が163ha栽培

宮本の提言で山林での渋柿栽培を1963年から

◎沖縄なら薬用のインドジャボク

を栽培しては？ 宮本、1974年

安溪遊地に語りかける

<http://ja.wikipedia.org/wiki/インドジャボク>



道なき道

西表島の廃村研究





Ankei Takako in abandoned village Kanokawa  
on the hillside of Iriomote, 1975



# 一生のつきあいを続けるのが地域研究





# ヤマネコ印西表安心米の挑戦

イリオモテヤマネコと共存できる有機産直稲作

- 1477年 稲作の初記録
- 1986年 農薬散布強制
- 1989年 安心米スタート
- 1991年 合鴨稲作開始
- 1998年 借金返済終了
- 2006年 後継者の帰島



西表安心米生産組合

0980856302



調査地被害のないフィールドワークは可能か

# 迷る調査 惑いさわれ

フィールドに出る前に読んでおく本

何のための研究？誰のための研究？お金はどこから？

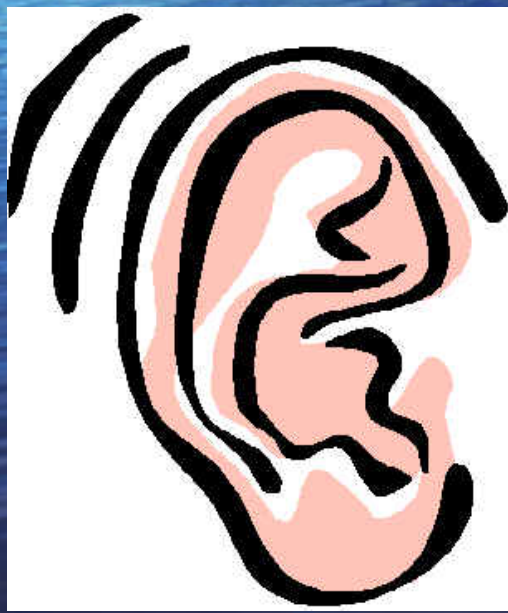
植民地支配のための道具として生まれた文化人類学。ユダヤ人識別に活躍した自然人類学



2008年 みずのわ出版



みる・きく+やってみる（参与観察）  
超えられぬ壁はあっても同じ場と時を共有



発表前に地元の人にチェックしてもらえば安心





# 「仲間だ」と思われればいいんじゃないよ

いりおもて 1995年

(宮本常一・調査の心得)





# 地球研・列島プロジェクト(2005-2010)



戦争中の鮮明な空中写真に興奮  
気味の地元のみなさん（奄美市）



# 「聞いてしまった者」の地域への責任

話者が筆をとる（おきなわ文庫、1986, 90, 92）





# 第一部 宮本常一 (1907-1981)

## 1. 島に生まれ

「周防大島の百姓」と自称

## 2. 島にまなび

「調査地被害」を提起

## 3. 島をよくしようとした

実践の人





集めた松葉を背負う女性（母マチさん）



## 15歳で大阪へ働きにでる時の、 父・宮本善十郎の十箇条から

- .....駅へついたら人の乗りおりに注意せよ.....時間のゆとりがあったら、できるだけ歩いてみることだ。いろいろのことを教えられる。.....金というものはもうけるのはそんなにむずかしくない。しかし使うのがむずかしい。それだけは忘れぬように。.....自分でよいと思ったことはやってみよ、それで失敗したからといって、親は責めはしない。.....人の見のこしたものを見るようにせよ。その中にいつも大切なものがあるはずだ。あせることはない。自分の選んだ道をしっかり歩いていくことだ。



日本民俗学の生みの親  
柳田国男の知遇を得て  
民俗学を志した教員時代



<http://hayabusa-3.dreamlog.jp/archives/51272614.html>



# 1. 「わが食客は日本一」 渋沢敬三, 1961 (文藝春秋)

渋沢栄一の孫・銀行家・大蔵大臣 私設博物館と研究所  
柳田国男・今西錦司など多くの学者を支援したパトロン。  
宮本の建国大学（満州）への赴任に反対。故郷の研究を



宮本君は単なる学徒ではない。大島の家には田畑もあり、老母と奥さんが居られ、百姓をし米もとり蜜柑も作り、又柴も山に刈りに行っている。

篤農家的素質と訓練を持ち合わせている。



## 2. 調査地被害（宮本常一 1972）

渋沢敬三先生の日頃の教え  
と謙虚な態度を受け継ぐ

- 一. 他人に迷惑をかけないこと
- 二. でしゃばらないこと
- 三. 他人の喜びを心から  
喜びあえること

調査というのは地元には大きな  
負担と迷惑をかけるのだから  
なんらかの形でお返しを

「調査というものは地元のためにはならないで、かえって中央の力を少しづつ強めていく作用をしている場合が多く、しかも地元の人のよさを利用して略奪するものが意外なほど多い。」

1945年7月10日、**空襲**ですべての資料を失う

堺市の空襲で、宮本はフィールドノート100冊、未刊行の原稿1万2000枚、写真フィルムのすべてを失う。蔵書は3日間燃え続けた。



[http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/daijinkanbou/sensai/situation/state/kinki\\_01.html](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/daijinkanbou/sensai/situation/state/kinki_01.html)



1945年7月～12月

大阪府の囑託

全国規模の配給システムが崩壊するなかで、  
都会の人々に野菜を供給するという仕事。

1945年大阪藤井寺の稲作農民の相談に乗った宮本の診断はイネを犯す菌核病、**鉄分**不足が原因

米がないので

ジャガイモが配給→



<http://homepage3.nifty.com/yoshihito/haikyuu.htm>

# 1945年10月 戦後緊急開拓につきそう



昭和5年から昭和46年まで問寒別駅前から問寒別川に沿って幌延村営軌道が出ていた。沿線には炭鉱があったほか、戦後まで入植者があった。特に後期の入植者はほとんどだまされるようにして連れて来られ、戦後に至ってもほとんど縄文時代と変わらない掘っ立て小屋で開拓にあたったという。

<http://www.onitoge.org/tetsu/soya/40toikanbetsu.htm>





# 1966 (2005再刊)

「どこだって同じ日本の国の中ではないか、その国の中のすみのほうにあるからといって、わすれさってしまってはいけない。その土地のことをおたがいにもっと知りあって、よくするように努力しなければいけない。」  
というように考えて歩いているのです。

## 辺境を 歩いた人々

宮本常一

Miyamoto Tsuneichi



ここにも  
旅する巨人たちが。

近藤富蔵

（八丈島）

松浦武四郎

（小笠原諸島）

菅江真澄

（小笠原諸島）

笹森儀助

（小笠原諸島）

江戸、幕末、明治。

激動の時代に、

八丈島、蝦夷地、

みちのく、

琉球・八重山諸島

の地理・歴史・民俗の調査に、  
一身を賭して情熱を捧げた、  
民俗学のパイオニアたちの  
数奇な運命と足跡を  
わかりやすくたどり直す。

定価 本体1800円（税別）

河出書房新社

アジアの庶民は、国境や民族や言語文化の壁などやすやすと超えてきた。海の上には**赤い線**が引いてなかった。

- 小さな舟で大阪佐野から海に出た二人の物語  
（壱岐・対馬・朝鮮・遼東半島・北京に通じる河口まで行った。舟が大きければインドまでも行っただろう）
- 本当にインド洋まで行った漁師が40年後に故郷に帰って見たら.....
- 九州の西端の男女群島の話へ飛躍



# 昔タンコウ今カンコウ

島のリーダー石垣金星さんの言葉

経済的恩恵を求めて地域の固有の文化や方言を失うきっかけとなったことを反省しなければならぬ。

# 聖地にリゾート、神様の許可は？

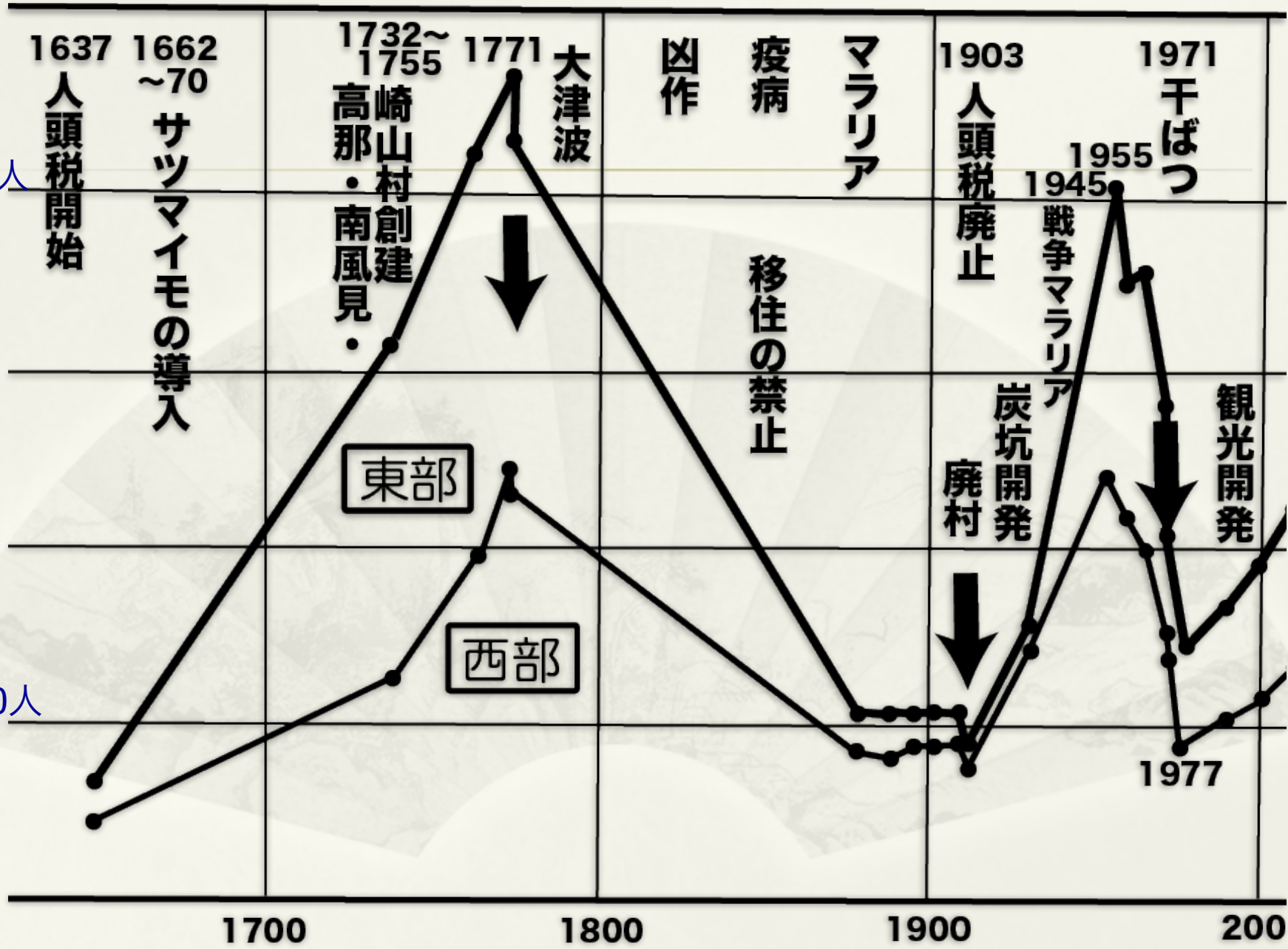
(石垣金星) a local leader





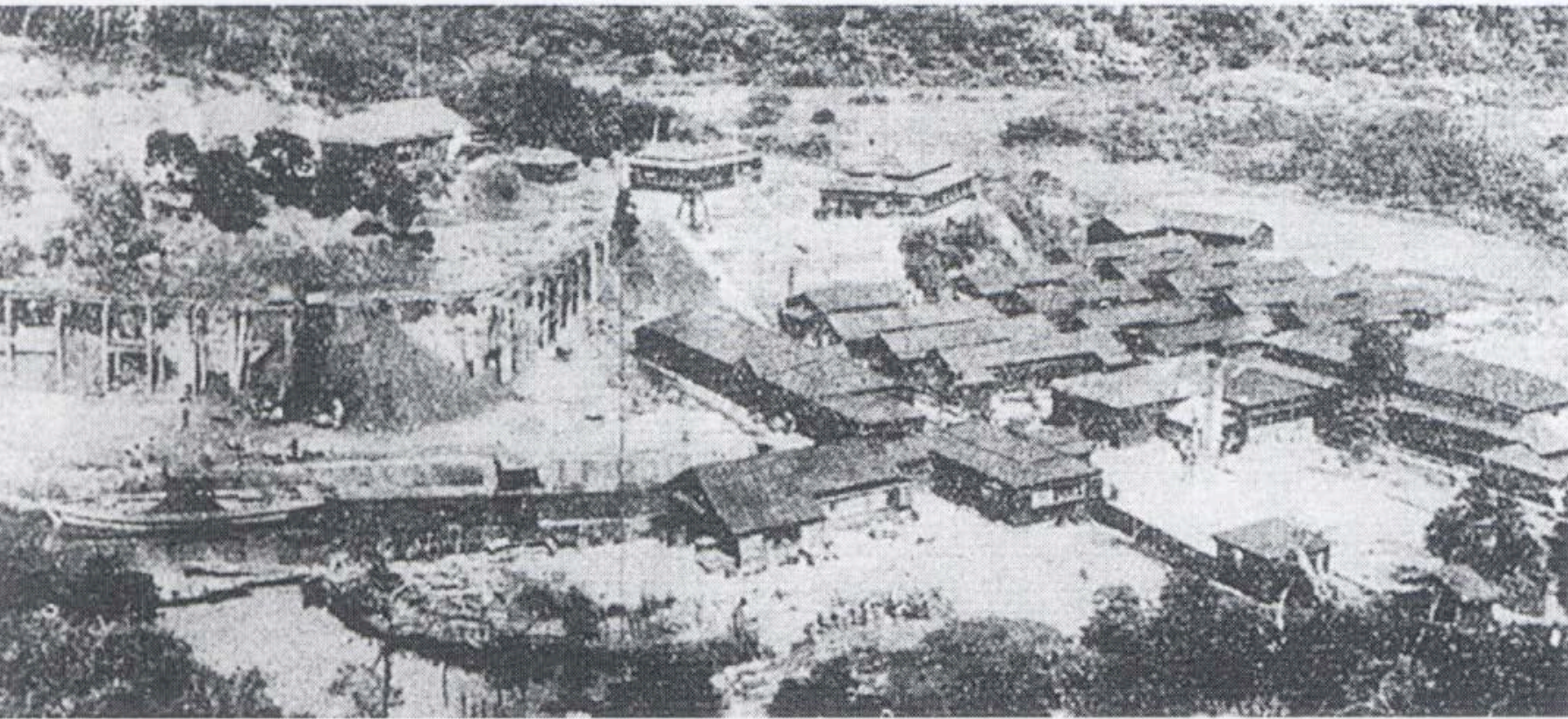
4000人

1000人





# 西表島・ウタラ炭坑の全景（昭和10年代）



丸三炭坑宇多良鉱業所の全景（昭和10年代）



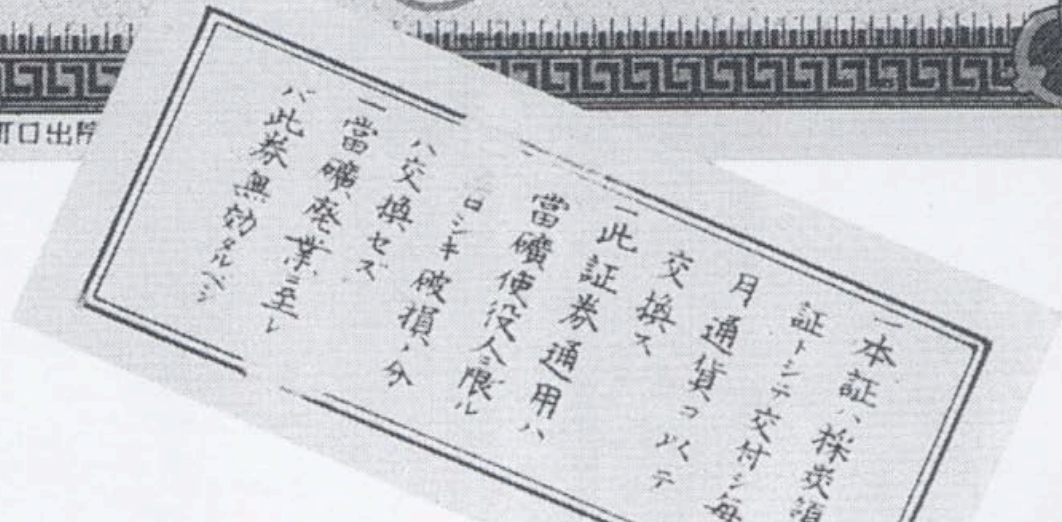


## 渋谷敬三（大正15）

脱出するためには汽船に依らねばならぬ。たとい一度はうまくその島を逃れても、坑主の密偵は石垣にも宮古にも沖縄にも台湾にもいてたちまち捕らえられて送還される。……文通を禁ぜられ通貨を奪われ、性欲の発動も奪われ、しかも死ぬことさえも出来ぬ彼等……爺さんの顔には希望も生命も消えうせていた。大震災の火事を見ているような全く自失した顔であった。



# 働いてもお金はもらえなかった





マングローブ観光の船の波で  
マングローブが倒れる





# 聖なる浜もゴミで埋まる



[http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/iriomote\\_fc/22topicbak.html](http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/iriomote_fc/22topicbak.html)



# 自然にやさしい人がおしよせる





# 炭坑の慰霊碑

一将功成りて  
万骨枯る

ではない歴史  
の継承を





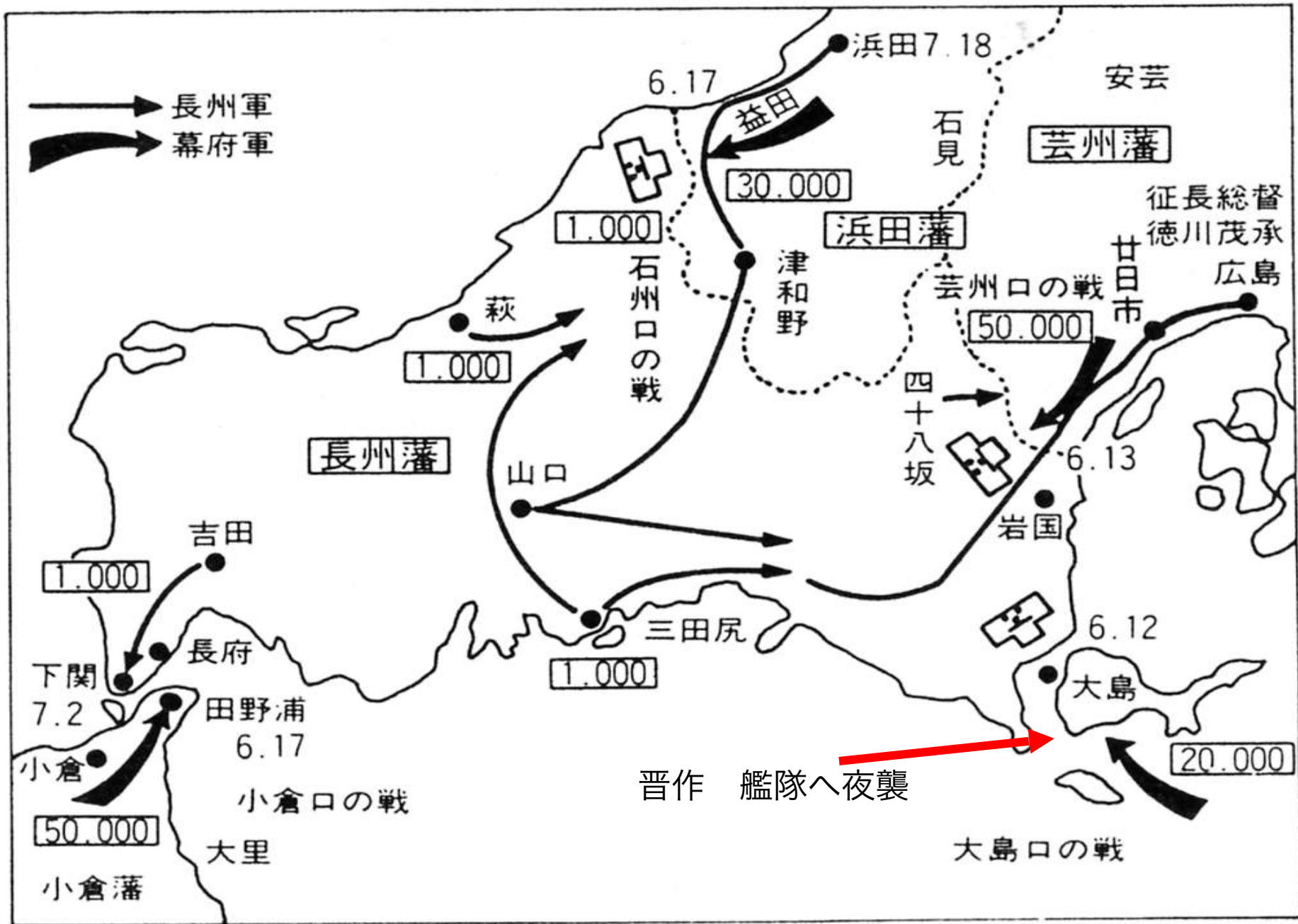
# 周防大島を攻撃する幕府の軍艦（1866）



四境戦争配置図 (慶応2年)

1866年6月

長州藩絶体絶命





# 江戸時代から大切だった宇部の石炭

→高杉晋作の軍艦の燃料が三田尻港にあったわけ

宝暦12（1762）年

山口の商人床波浦の間屋で石炭と塩をあきなう

明和2（1765）年

長州藩が有帆川河口で石炭運上銀（税）を徴集

天保年間（1818～44）

塩田450軒、石炭の年間消費量7万トン

（江戸時代人づくり風土記35 『山口』 農文協）

# 江戸時代から大切だった宇部の石炭

→高杉晋作の軍艦の燃料が三田尻港にあったわけ

宝暦12（1762）年

山口の商人床波浦の間屋で石炭と塩をあきなう

明和2（1765）年

長州藩が有帆川河口で石炭運上銀（税）を徴集

天保年間（1818～44）

塩田450軒、石炭の年間消費量7万トン

（江戸時代人づくり風土記35 『山口』 農文協）



# 宮本常一

KAWADE  
道の手帖

旅する  
民俗学者

佐野眞一  
責任編集

特別対談

佐野眞一×谷川健一  
「今なぜ宮本常一なのか」

宮本常一写真集成  
「オン・ザ・ロード」

宮本常一 単行本・著作集  
未収録コレクション

講演「かなたの大陸を夢みた島」

採話「宇部・小野田炭坑古老聞書」

エッセイ「孫晋庵君のこと」「柳田國男の旅」

対談＝谷川健一「現代民俗学の課題」

水上勉「日本の原点」

エッセイ

浅沢敬三／司馬遼太郎

網野善彦／高田宏

石山修武／池内紀

赤坂憲雄…

「宇部・小野田  
炭坑古老聞書」 (1971)

伝承がひとりひとりみな  
ちがう。民俗学を越えて。

じっくり聞きにくい時代  
になった。夜はテレビが主役

廃坑の分布図や典型的なも  
のの保全・公開を



# 宇部市立石炭記念館を訪ねましょう





床波の長生炭鉱の事故(1942年2月3日)

現場に残る2本の吸排気塔ピヤ





# 犠牲者183人の7割が朝鮮人だった

## 2013年2月2日慰霊碑建立



# 歴史を踏まえた本物の友好を



<http://www.mindan.org/front/newsDetail.php?category=0&newsid=14744>

長生炭鉱の”水非常”を歴史に刻む会

事務局：〒755-0031 宇部市常磐町1-1-9 宇部緑橋教会内

電話：0836-21-8003 mail:chouseitankou@me.com

<http://www.chouseitankou.com/>



# 三池 終わらない炭鉱の物語



# たくさんの客を案内する







A Pilgrimage  
in search of  
memories of  
Imperial Japan

(1-6 Sept 2015  
In Dàlián and Hā'ěrbīn)

# L ŭshùn Jail Museum





In order not to forget: 伊藤博文 a



4 Sept. 2015 Harbin

任“韩国统监”时期的伊藤博文  
“한국통감” 시기의 이토히로부미



# In order not to forget: Unit 731 and ISHII Shirō



七三一部队首任部队长石井四郎  
Shiro Ishii, the first commander of Unit 731.



冻伤  
小动  
黄鼠  
谢罪



In order  
not to  
forget



# 人体实验

HUMAN EXPERIMENTS

七三一部队使用中国和外国健康活人进行了大规模的人体实验。专门建立了人体实验核心区域四方楼，根据细菌武器研究需要，设置了研究班，分别使用鼠疫、炭疽、霍乱、结核、伤寒等 50 余种细菌和病毒进行惨无人道的人体实验。人体实验完全背离了国际公约和人类精神，违反了生命伦理和医学准则，是人类文明史上充满黑暗与丑恶、野蛮与暴力的一页。



# 谢罪与不战和平之碑

## 谢罪与不战和平之碑

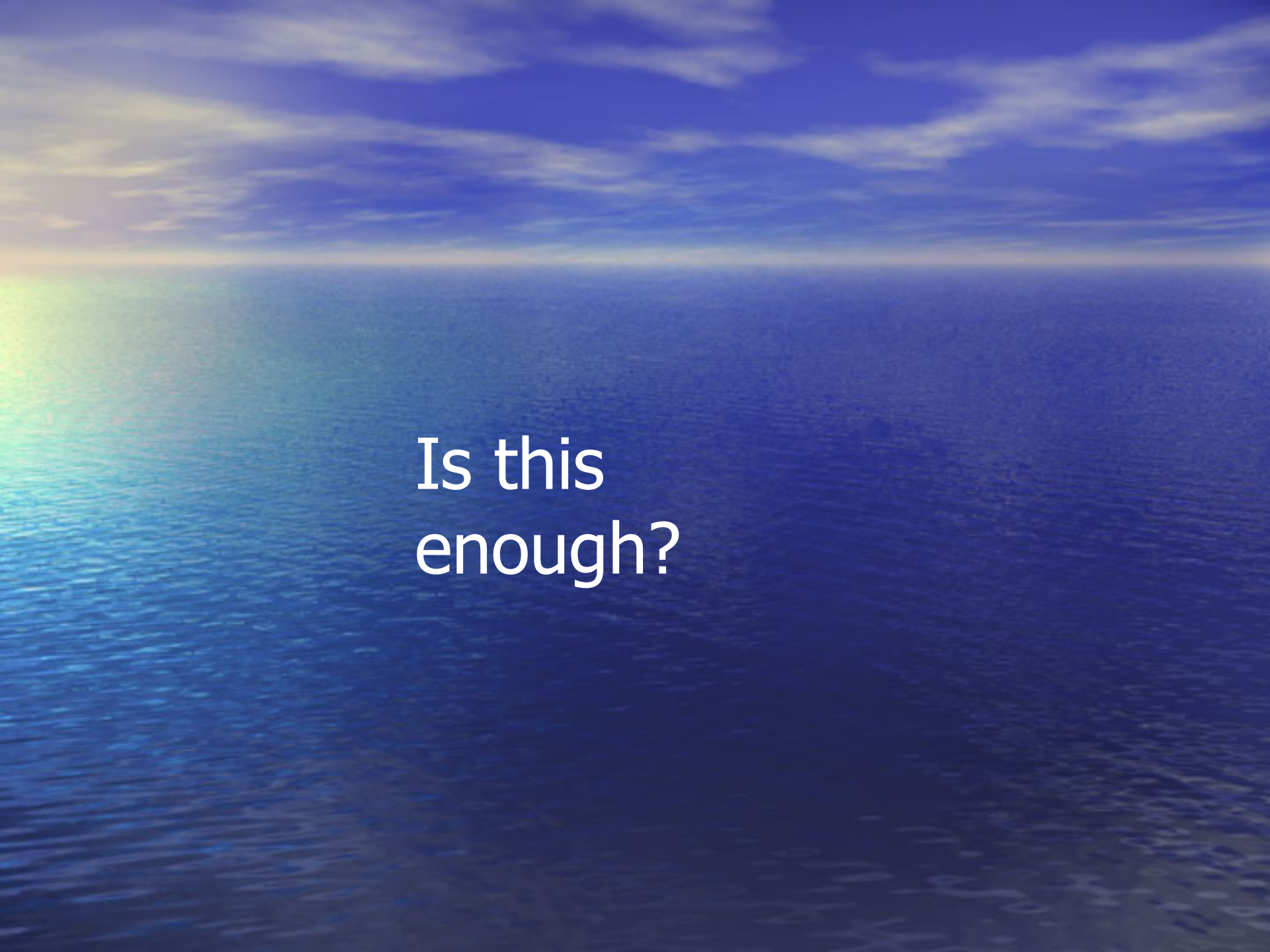
侵华日军第七三一部队在中国犯下了世界历史上史无前例的国家级罪行。我们作为加害国的市民向那些被惨害的抗日战士以及众多无辜的中国人民和他们的遗属真诚谢罪。

我们在此立誓，以史为鉴警示后人，永不犯同样的罪行。

2010年8月15日

日本ABC企画委员会



A vast, deep blue ocean stretches to the horizon under a clear blue sky. On the left side, a bright sun is partially visible, creating a shimmering reflection on the water's surface. The overall scene is serene and expansive.

Is this  
enough?



How can we memorize?

From someone else's business  
to my own

他人事から自分事へ



清野謙次 (KIYONO Kenji) [1885–1955] Prof. of

Kyoto Imperial University until 1938, his collection of 1500 skulls are now in the Laboratory of Physical Anthropology, Faculty of Science, Kyoto University.



1. Teacher of ISHII Shirō  
石井四郎, he actively

worked as the supreme  
advisor for the Unit 731.

2. Ainu and Ryukyu  
human rights activists are  
demanding Japanese  
universities to return the  
“stolen” skulls from their  
tombs.



曾禰荒助 SONE Arasuke  
(1849-1910.9.13)  
初代統監府副統監 (1907-1909)  
第2代統監府統監 (1909-1910)



Elder brother of my  
great-grandmother  
(mother's mother's  
mother)

寺内正毅 TERAUCHI Masatake  
(1852-1919)  
第3代統監府統監 (1910.5.30-)  
初代朝鮮總督 (1910.10.11-1916)



The founder of  
Yamaguchi Prefectural  
University's Terauchi  
Library (桜園寺内文庫)

A Buddhist altar,  
the only gorgeous  
thing in the  
Lushung Jail





香川葆晃 KAGAWA Hōkō

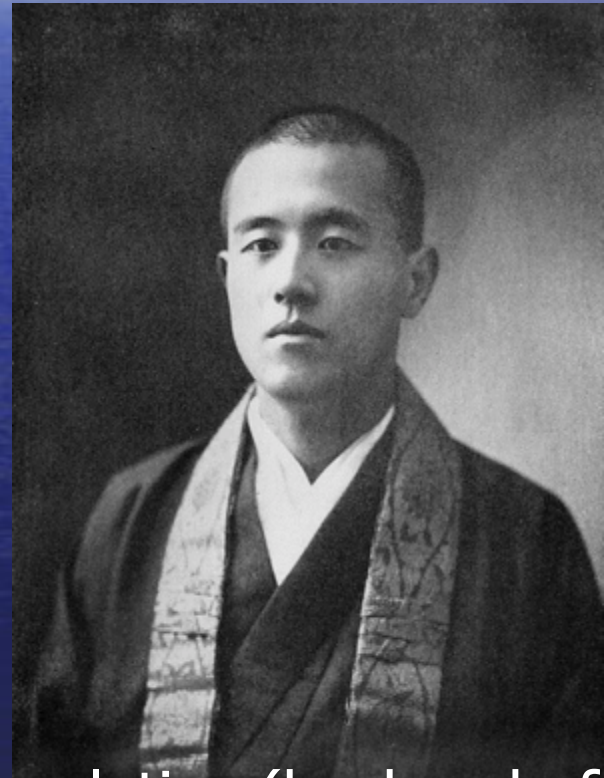
(1835-1898) Buddhist priest, a spy in the civil war against shogun, head of former 龍谷大学, preached to soldiers and prisoners.



My great-grandfather  
(Father of Mother's Mother)

大谷光瑞 Ōtani Kōzui

(1876-1948) The 22nd Abbot of Hongwanji Temple, Kyoto stayed in Dalian and Shanghai.



My relative (husband of a  
cousin of my father) was an  
acolyte 侍僧 of Kōzui in Dalian.

巴利文化學院 Pali Cultural School, founded by 財團法人佛教教團, secretly sent young Buddhists to Asia for propaganda of the Empire. Graduates of 1943.



安溪大安Daian (1919-2005)

My father sent to 內蒙古



## **Conclusion and prospect:**

As brothers and sisters, let us place friendship and sustainability as bases for our common future, earnestly listening to local voices and memories.

I memorize, apologize, and pledge to work for peace, not for the empires.

## Acknowledgments

I am grateful for the Yaeyama Islanders who advised my study and guided my life throughout since 1974. Thanks are due to professors 伊谷純一郎, 川喜田二郎, 宮本常一, 國分直一, 全京秀 who taught me the ethics of fieldwork.

## References

・安溪遊地、1977 「八重山群島西表島廃村鹿川の生活復原」 伊谷純一郎・原子令三編 『人類の自然誌』 雄山閣

・安溪遊地、2015 「他人事から我が事へ From Someone Else's Business to My Own: Learning to participate in the field 」 『平和研究』 44 (in



# 未来への警鐘

世界をみわたしてえりをただし

子や孫の代に感謝される選択を

## 2. 古い記憶と国ざかい

対馬というところは、古いこと、古いものが実に多く残されている。ここには、鎌倉時代以来つづいた家が今も残っているし、古文書も残っている。峯の松村家など同じ場所に700年も住みつづけている。

対馬は国境の島である。海の向こうに朝鮮が見える。.....しかも島民自身の手で島を守らなければ援軍など容易に来てくれないのだから、いつもある緊張の中にいた。そういう緊張が古いことを残したのであると思われる。

『宮本常一離島論集』 5巻、みずのわ出版

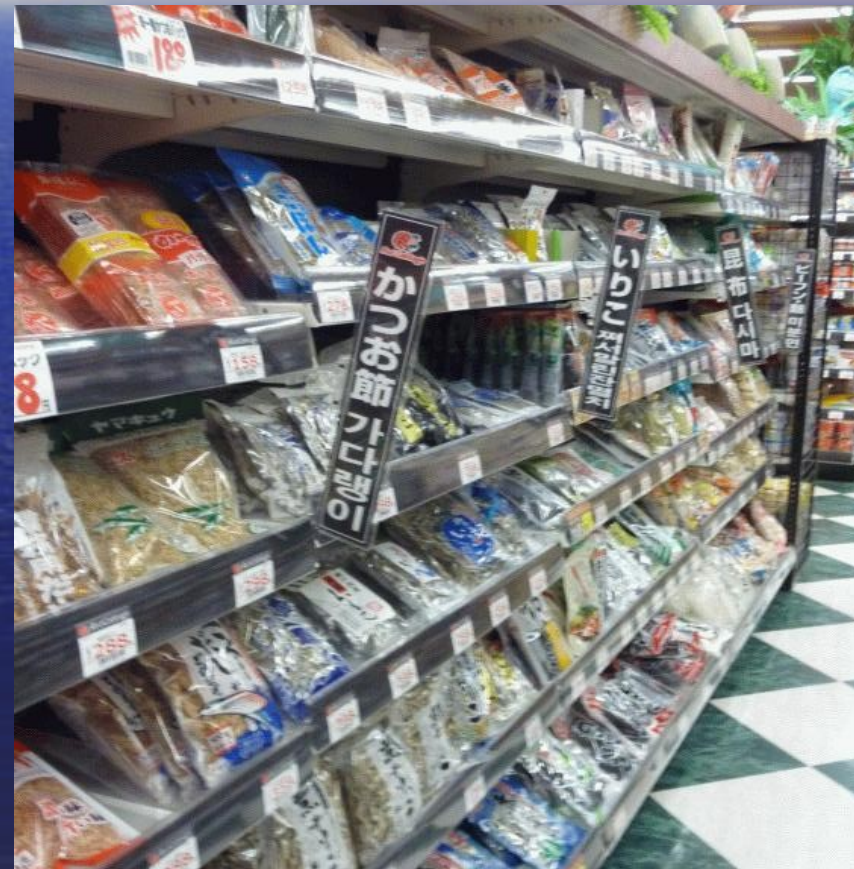


対馬から見える49キロ先のプサンのビル群  
国際携帯電話が自動的に韓国に切り替わる場所も





# 対馬には韓国からの観光客があふれていました





# 対馬南端のひなびた浅藻（あざも）の家並み





# 明治9年久賀の漁民が開いた浅藻の村





# 隣接地域間で提携を

「隠岐の島」が「胆州」の双子関係になってはいかかろうか。姉妹関係より強いものを目指します。島根県隠岐の島町と山口県萩市の両市が10日、日開港された「国境フェリーライン」(隠岐)で、ソウル大学の全京秀教授(文化人類学)が語った。



全京秀・ソウル大教授

## 辺境の苦悩

「国境フェリーライン」は、ソウル大学の全京秀教授(文化人類学)が語った。韓国で沖縄と呼ばれる竹島の領有権を政治問題として扱われる。両国のナショナルリズムが衝突し、互いの生活のためにはならない。国境という概念を超えて隣接する地域が協力し合う「インターローカル」な関係性を構築する必要がある。同報や

隠岐から見た北方領土

## 実効支配の「壁」を越えて



竹島のソウルに描かれた島と海を国境地域の観光客に求める。島根県隠岐の島町。

独島に現在も残る地名は「入会地」のような多くの全羅道方言が、状態で日韓の住民が使われているのもその証左だという。隠岐も鬱陵島もそれは、隠岐の中央政府から遠く離れた辺境にあって、韓国の許可を生活は苦しい。「であってニホンアシカやアワビを取りに竹島や鬱陵島にやって来た。面談しを将来、どうするかを考える方が地域にとってプラスになる」と全教授は語る。

だが竹島は、韓国では約70年離れた鬱陵島を行政の中心とする慶陽郡に属する。同島と隠岐の連携は、韓国側の行政権に従った形ではあり、韓国側の実効支配を追求する行為に



ニホンアシカの幼獣の飼育—島根県立大学で

に何の文章も残されなく、「領土問題の解決」かたことから、当時まで待ってはられない。藤原弘市長が表明し、「北方領土返還運動」を促した。後継の長谷川俊介市長も「ヒザなし特約」の創設を国に働きかけ、21年閣議決定で「北方領土」に「ヒザなし」がつけられる。21年閣議決定で「北方領土」に「ヒザなし」がつけられる。21年閣議決定で「北方領土」に「ヒザなし」がつけられる。

二ホンアシカ アシカ科の海洋哺乳類で、かつては日本各地の沿岸で繁殖していたが、現在は絶滅危惧種に指定されている。島根県立大学で飼育されている。島根県立大学で飼育されている。

竹島でアシカ猟などをしてきた隠岐島民と濟州島の海女たち



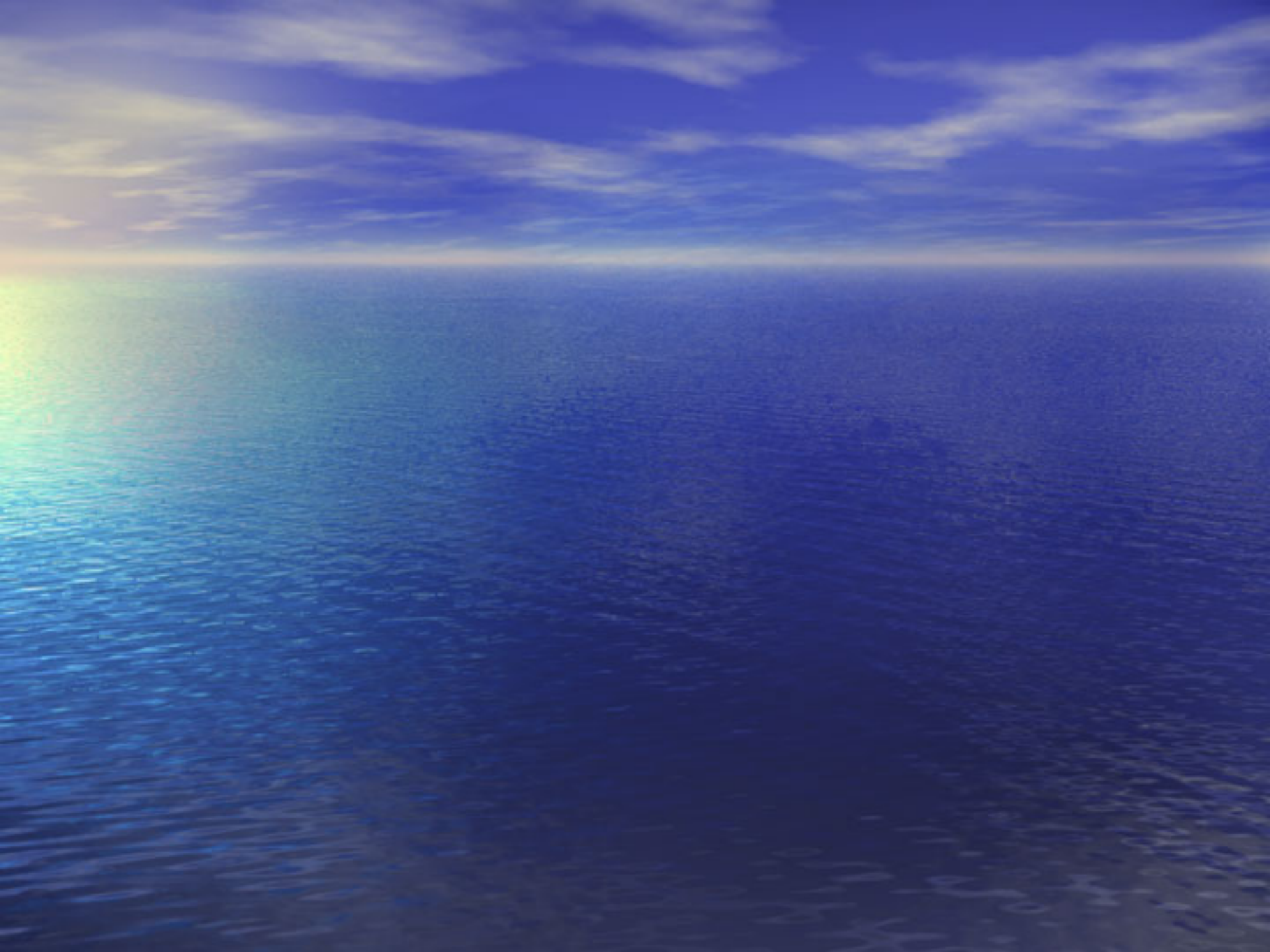


今こそ子や孫の世代に手渡せる  
希望と誇りのある地域を創ろう

(宮本常一の願い)







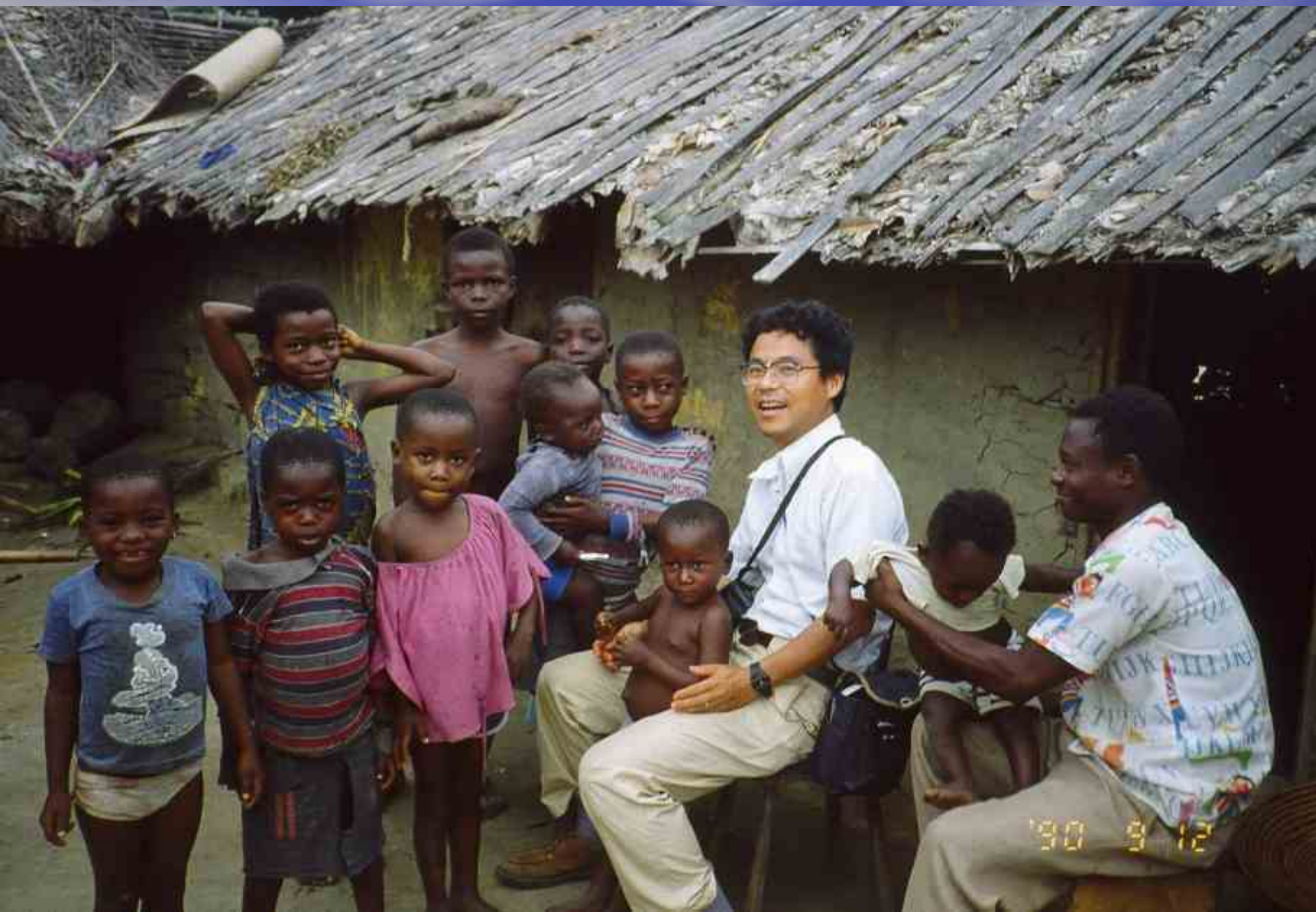


コンゴ民主共和国の森の村で養子になる（1978～）  
スワヒリ語を話しソンゴラ語を学ぶ（＝宮本の願い）





# 7年間の留守に生まれた子どもたちを抱いて祝福





# 本当の豊かさとは。畑小屋で休む家族（内戦前）





コンゴ内戦から資源争奪戦争へ

1996年以来の死者**540万人**以上





## 2. 資源争奪戦争を必要としない暮らしへ 山口の田舎に住み田んぼをつくって20年



紙マルチで除草の有機栽培



# 藍の生葉染めは青空の色





# 裏山が油田（秋山豊寛さんを迎えて）





# 息子が農地6反を取得 (2011.3.11後)

